

平成28年2月16日

各位

大同生命保険株式会社  
代表取締役社長 工藤 稔

## 設計書 [ 契約概要 ] でUCDA認証『伝わるデザイン』を取得！

～ 複数の保険商品を組み合わせた複合設計書など全13種類で取得 ～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：工藤 稔）は、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会（以下、UCDA）より、「複数の保険商品を組み合わせた複合設計書など全13種類の設計書 [ 契約概要 ]」において、わかりやすさのUCDA認証『伝わるデザイン』を取得しました。

今年度開催された優れたコミュニケーションデザインを表彰する「UCDAアワード2015」の「情報のわかりやすさ賞」の受賞（ ）に続いて、ご加入にあたり保険内容を説明する設計書 [ 契約概要 ] が、お客さまにとって「見やすい、わかりやすい、伝わりやすい」書面であるとのUCDAの評価基準を満たし、認証取得となりました。

Lタイプ（無配当歳満期定期保険）の設計書 [ 契約概要 ] で受賞。

当社は、平成26年度から高齢のお客さまに「わかりやすく利便性の高いサービス」をお届けする「ベストシニアサービス」を推進し、お客さま対応品質の向上に全社をあげて取り組んでいます。

この取組みの一環としてお客さま向けの帳票・画面の改善をすすめており、昨年9月に認証取得した申込手続画面などに続いての認証取得となります。

今後も「わかりやすく利便性の高いサービス」をお届けするための改善を図ってまいります。

以上

〔お問い合わせ先〕 広報課 TEL 03-3272-6206

設計書 [ 契約概要 ] の主な特長

- リスク・商品別に基調カラーを設定し、保障内容を一目で識別。
- 文字の大きさや行長に配慮し、わかりやすさを向上
- 自動冊子化により、ページの抜け落ちや入れ違いを防止。
- 読み上げて説明する部分や注意事項をピクトグラム表示し、視認性を向上。
- ご契約のしおりの該当ページを掲載し、詳細情報を参照方式とすることで、情報過多を抑制。



【全13種類のうち、Lタイプと複合設計書の帳票イメージ】



【Lタイプ】



【複合設計書】

【ご参考】



一般社団法人 ユニバーサル コミュニケーションデザイン協会

一般社団法人 ユニバーサル コミュニケーションデザイン協会は、2007年任意団体として設立（2009年11月に社団法人化）。視覚情報伝達の領域に、人間中心設計の考え方を導入。生活者の生命・財産に関わる金融コミュニケーションの分野を中心に、第三者機関として「わかりやすさ」の認証制度を行っています。産業・学術・生活者の第三者による研究および評価・改善活動で情報の伝達効率を向上させ、発信者である企業・団体と、受信者である生活者、双方の利益に資することを目指しています。